

カトリック河原町教会だより

2020年9・10月

教皇フランシスコ「お告げの祈り」でのことば（抜粋）

親愛なる兄弟姉妹の皆さん、こんにちは。

今日の福音朗読(マタイ14・22-33 参照)では、嵐のさなかに湖の上を歩くイエスのことが語られます。イエスは「安心なさい。わたしだ。恐れることはない」と言って、弟子たちを安心させます。この福音箇所は、人生の中のあらゆるときに、試練や混乱に陥ったときにも、神を信頼して身をゆだねるよう呼びかけています。何もかもが闇に覆われる人生の難局のただ中で、深い疑いや恐れに見舞われ、沈みそうになったら、決して恥ずかしがらずに、ペトロのように叫んでください。「主よ、助けてください」(30節)。

イエスは、わたしたちを決して見放さない御父の手であり、つねにわたしたちにとってよいことのみを望んでおられる御父の強くて忠実な手です。信仰をもつことは、嵐のただ中でも神に、神の愛に、神の父としての優しさに、心を向け続けることです。イエスはそのことをペトロと他の弟子たちに、そして今日のわたしたちにも教えようとしておられます。主は、わたしたちの信仰が闇や悲しみに覆われ弱まること——わたし自身も含め、わたしたちは皆、信仰の薄い者



です——、そして、わたしたちの歩みが逆風によって阻まれ、妨害されることをよくご存じです。主は、わたしたちを安全な場所に導くために、死を過ぎ越されました。わたしたちが主を探し始める前から、イエスはわたしたちのすぐそばにおられます。そして、落ちたところから引き揚げ、信仰のうちに成長させてくださいます。

わたしたちはおそらく、暗闇の中で主は遠くにおられると思い、「主よ、主よ」と叫ぶでしょう。すると主は「わたしはここにいる」と言われます。主はすでにわたしとともにおられたのです。 フランシスコ

教会の様子(インスタグラムより)



今を超えて今を生きる

洛東ブロック担当司祭 菅原 友明

日本で一番儲かっている地下鉄は大阪の御堂筋線なのだそうです。10両編成の電車が次から次へとやって来て、いつもお客さんでいっぱいです。でも、戦前に梅田から心斎橋までが開業した当初はたった1両での運行で十分だったそうです。それでも、将来の乗客増加を見越して、10両分が停車できるような広大な駅を建設しました。過剰投資だとの批判を受けながらも未来のことを真剣に考えた人達がいたので、御堂筋線は大動脈として戦後の大阪を支え続けることができたのでした。

地球環境問題が危機的な状況にあるにもかかわらず、取り組みに本腰が入らないひとつの理由は、「どうせ何十年後に自分は生きていない」「勝ち逃げ」「あとは野となれ山となれ」というような発想を、誰もが心のどこかに抱いているからなのかもしれません。このような発想は、道徳的によろしくないというだけにとどまらず、永遠の命という霊的な現実を見損なっていることに由来するもので、結局は深い所で今の自分自身をも苦しめてしまう姿勢にちがいません。

永遠の神の似姿としてのこの私の命は、誕生から死までというこの世的な時間に閉じ込められてなどいないし、限定された自分の肉体という空間の中だけでも閉じ込められていません。いつも永遠へと開かれているのが私の命の本質です。三位一体の神と共に、この霊的な現実を目覚めて生きようとするのが永遠の命を信じている私たちのはずです。

そして、実は、人は誰でもこの永遠の命をちゃんと知っているのだと思います。だからこそ昔の大阪の人達は、自分がもう生きていない未来を見据えて広大な梅田駅をつくることができたのだし、いつの世にも自分の知らない地球の裏側の人達の幸せを考えて行動できる人がいるのです。自分の死後の地球環境を思いやることができるのは、永遠の命を生きる私たちの自然な姿です。

今を超えて今を生きる。私を超えて私を生きる。命を超えて命を生きる。それが永遠の命としての私たちの本領です。イエスは言います。「自分の命を救いたいと思う者はそれを失うが、わたし

のために命を失う者は、それを得る」
(マタイ 16:25)。この世的には矛盾しているこの言葉に、私たちの命の真実があります。次のパウロの言葉も思い起こしましょう。「この世の生活でキリストに望みをかけているだけだとすれば、わたしたちはすべての人の中で最も惨めな者です」(一コリント 15:19)。



淀屋橋にて



返信ハガキで寄せられた皆様
からの要望 近況報告 抜粋

こんな事になるとは想像出来ませんでした。教会でミサに与って帰ると体中に神様が清らかな風を流して下さったのを感じています。歳で急に体が動きづらくなりましたが、世界中の人々が自らを省み、和やかに力合わせて又集いあえる日を祈っています。(85才男性)

神様に感謝 教会のお知らせいただきまして有難うございました。体調があまり良くないのでミサに与ることから遠ざかっておりますが、健康を取り戻せば教会に行きたいと思っております。(87才女性)

昨年膝の手術を受け、現在杖を使用にて一人で外出出来るようになりました。現在スマホにて東京・関口教会の大司教様の御ミサに与っています。一日も早く入堂制限がなくなりますように。(90才女性)

聖歌を歌ってミサに与りたいです。体調があまり良くないので80名の中に入るのはとても無理です。関口の教会のグーグルでのミサに与っています。(80才女性)

不安な日々を送っています。教会も事態が収束して、教会から全員来て下さいとの時にミサに行きたいと思っております。今これから少し家で祈りをします。(78才女性)

毎週日曜日関口教会・イグナチオ教会のライブミサに参加しています。一日も早くコロナが収束しますよう毎日ロザリオのお祈りをしています。(77才女性)

主日のミサに与れず残念ですが、コロナ禍がいずれ収束することを祈っております。夫は昨年より病に臥せてミサに参加出来ておりませんが、日々祈りの中で過ごしております。病者の塗油の秘跡を願える時が来れば連絡いたします。(73才女性)

1. ゆるしの秘跡が出来ないので死が迫った時が恐ろしいです。心配です。
2. 今この時こそ聖書の通読の日々を与えられたことはお恵みです。
3. 教会が開いている折は聖体訪問させていただいております。河原町以外近くの聖堂に出向いてお祈りすることもあります。(87才女性)

コロナの報道に落ち着かない毎日でしたが、神様に感謝のうちに元気に過ごしています。動ける間はミサに参加したいので「聖書と典礼」よろしくお祈りいたします。(81才女性)

日曜日7時のミサが何よりのリハビリで毎週寄せていただいております。リンパがんで長期治療した副作用で乱筆乱文にて申し訳ございません。コロナがちょっと心配です。(79才女性)

このたびはお便りをいただき誠にありがとうございます。毎日心を合わせてお祈りしております。再びごミサに与れる日を心待ちにしております。(47才女性)

自粛生活の中で、ミサはライブ配信にて与っております。少しずつ外部に出かけるようになり、近いうちにミサに与れるようにと願います。司祭の皆様、又教会で色々お世話くださっている皆様の大変さを思う時唯々感謝です。ありがとうございます。祈りのうちに。(76才男性)

度々お知らせありがとうございます。何ヶ月も殆ど外出を控えて、ひきこもり生活ですが元気でおります。司教様、神父様方には、次々とふりかかる問題にさぞご心労なことでしょうが、お身体を大切にしてください。教会の皆様もお身体大切に!! (84才女性)

4年前に母を亡くし、昨年父が施設に入り、バタバタの日々でなかなか教会に行けず、ミサに行けると思った頃にはコロナ禍の時でした。教会のミサが開催されませんことを祈っております。私にはミサに与ることが必要です。(61才女性)

仕事に行っています。職場でも閉鎖や自粛がありました。金銭面でも収入が減りました。ただ、ただ、コロナウイルスが終息するのを待つばかりです。お祈りしています。早く終われば良いと… (57才女性)

思いもかけない状態が続きあてどない心の毎日です。私はガランとした聖堂でほっと息をついたり、ネット配信のミサや聖書を手にすることで、精神的な安らぎを得ています。いつになるかもわからぬ収束の日までしっかり祈って参りましょう。(77才女性)

コロナ禍、暑い毎日が続いております。そのような中、色々とお世話になりありがとうございます。「毎日のミサ」を読み、典礼聖歌を時々歌う日を送っております。早くコロナが終息し、いつもの毎日が来ますように日々祈っております。(72才女性)

コロナ禍で長い間ミサには参加していません。河原町教会は特に人が多く、密でありミサに出席するのははばかれます。ミサライブ配信はとても有り難く思いません。(68才女性)

自粛生活のせいか体調をくずしてしまいました。暑さもあり、なかなか出かけられませんでした。これからは教会へ出かけていくつもりです。ミサに与れなくても、聖堂訪問はしたいと思っております。ネット配信も見させていただいております。(73才男性)

大変元気にステイホームをいたしております。年若い者は免疫力が乏しいからと、あれをするな、これをするなど家族から言われつつ、早く平常に戻ることを願いつつお家で祈っております。(83才女性)

お世話になります。自分だけでは限りがあり、聖書など勉強する機会がほしいです。(74才女性)

◇2020年10月～12月の行事予定◇(予定は変更になる場合があります)

| 月 | 日 | 曜日 | 行事予定 |
|----|----|----------------|--------------------------------------------------------------------|
| 10 | 4 | 日 | [年間第27主日] 聖ペトロ使徒座への献金 |
| | 11 | 日 | [年間第28主日] |
| | 18 | 日 | [年間第29主日] 世界宣教の日(献金) |
| | 25 | 日 | [年間第30主日] |
| 11 | 1 | 日 | 諸聖人(年間第31週) |
| | 2 | 月 | 死者の日 諸死者追悼ミサ 18:30 |
| | 8 | 日 | [年間第32主日] |
| | 15 | 日 | [年間第33主日] 七五三お祝いミサ 10:30 貧しい人のための世界祈願日 聖書週間(~22日) 世界広報の日(献金) |
| | 22 | 日 | 王であるキリスト(年間第34週) |
| | 28 | 土 | 待降節黙想会 10:00~12:00(9:00より主日ミサ) |
| 29 | 日 | [待降節第1主日] (B年) | |
| 12 | 1 | 火 | 京都教区司教座聖堂献堂記念日ミサ 10:30 |
| | 6 | 日 | [待降節第2主日] 宣教地召命促進の日(献金) 菅原神父霊名くアンノ 12/5 記念日のお祝い |
| | 8 | 火 | 無原罪の聖マリア |
| | 13 | 日 | [待降節第3主日] |
| | 20 | 日 | [待降節第4主日] |
| | 24 | 木 | 主の降誕(夜半のミサ) 18:30、21:00 |
| | 25 | 金 | 主の降誕(日中のミサ) 7:00、10:30、13:00(英語)、18:30(夜半のミサ) |
| | 27 | 日 | 聖家族 |

お知らせ (敬称略)

◆洗礼 おめでとうございます

2020.7.24 ヨハネ・パウロ二世 栗谷 空

◆転入 ようこそ 河原町教会へ

2020.8.3 フランシスコ・ザビエル 藤田 尚史

2020.8.28 マリア・ベルナデッタ 栗栖 己佐代

◆帰天 主よ、永遠の安息をお与えください

2020.8.11 アンジェラ 草木 節子

2020.8.30 シエナ・カタリナ 東 文恵



ミサの時間

主日のミサ

土曜日 9:00 18:30

日曜日 7:00 10:30

英語ミサ 第2・4日曜日
12:00※週日ミサは当分行わない予定
です。

(最新の情報はウェブサイトをご確認ください)

講座の時間(中止の場合も有り)

初めての方向け

洗礼準備講座(菅原神父)

木曜日 10:00

金曜日 17:30

土曜日 11:00 15:00

信仰入門講座(瀧野神父)

金曜日 19:00

信徒向け

信徒養成講座

金曜日 11:00(Sr.ロサ)

聖書を読む会

土曜日 11:00(Sr.ロサ)

読書会

パウロ六世『福音宣教』読書会
水曜日 10:00(瀧野神父・「よく
分かる聖書の学び」の日は休み)「ヘブライ人への手紙」を読む
毎月第1土曜日 19:30(菅原神父)初めての方向けは事務室か
rakuto.nyumon.class@gmail.com
まで事前にご相談ください。

カトリック河原町教会だより 2020.9・10 カトリック河原町教会広報部発行

〒604-8006 京都市中京区河原町三条上る下丸屋町423 発行責任者:洛東ブロック司牧チーム

TEL:075-231-4785 FAX:075-211-8021 URL:<http://CatholicKawaramachi.Kyoto>